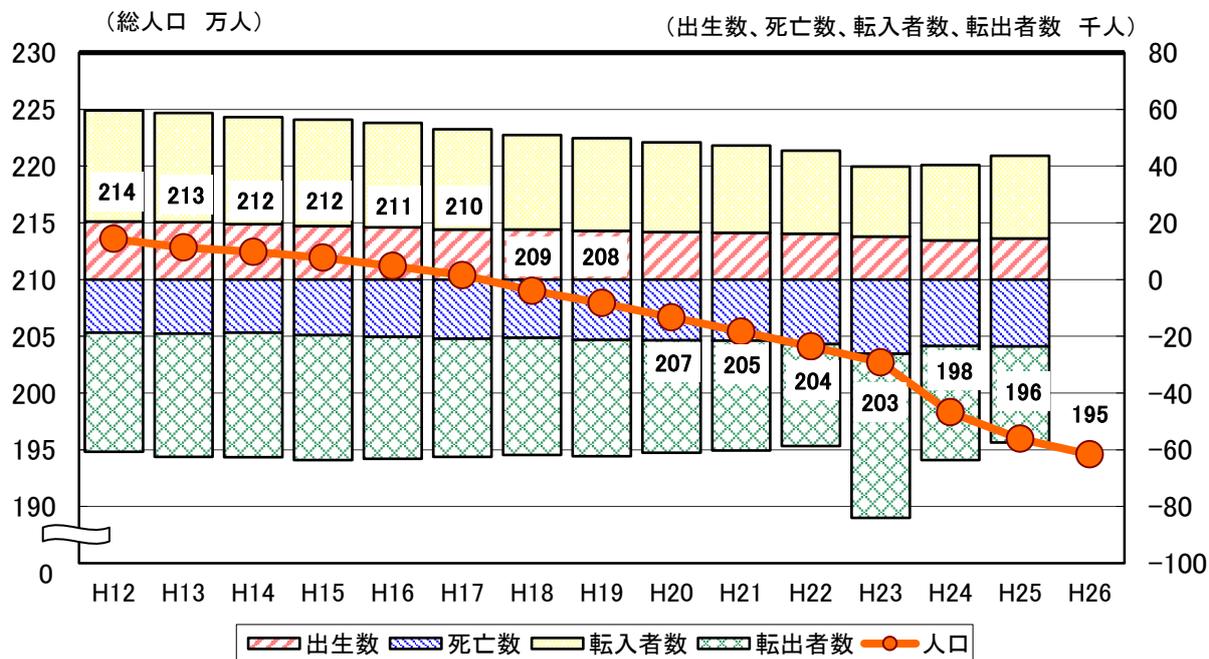


グラフでみる東日本大震災からの歩み ～ 統計データから見る福島県の現状 ～

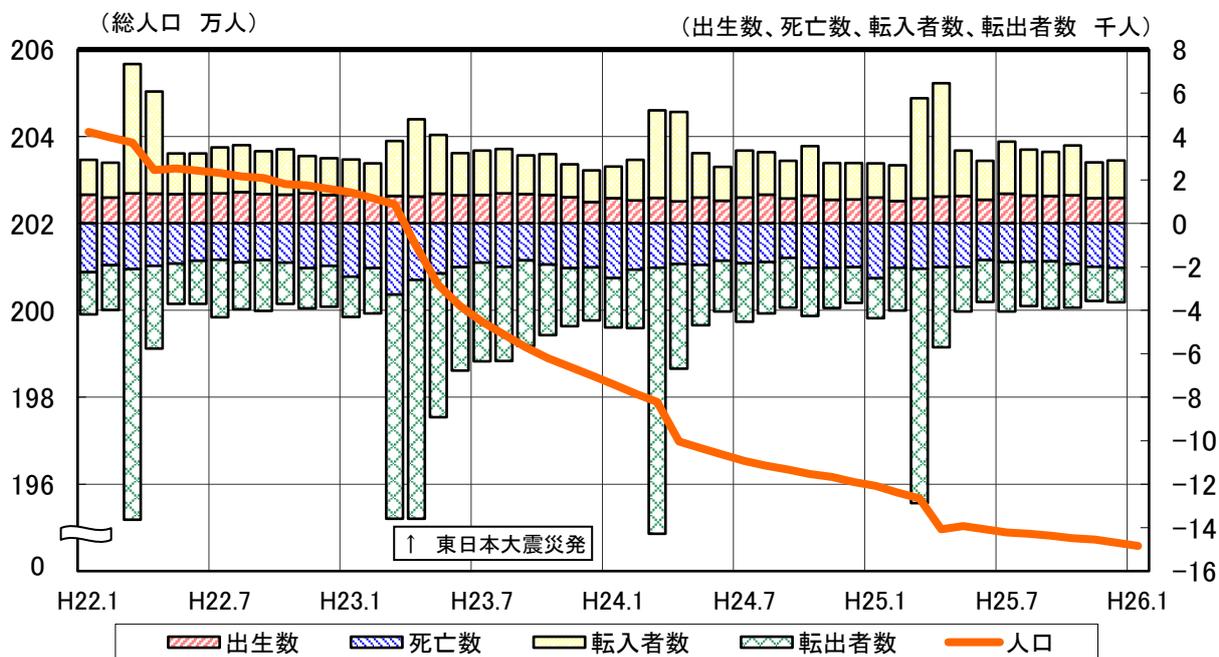
1 県人口の推移

(1) 県の人口(各年1月1日現在の推移)



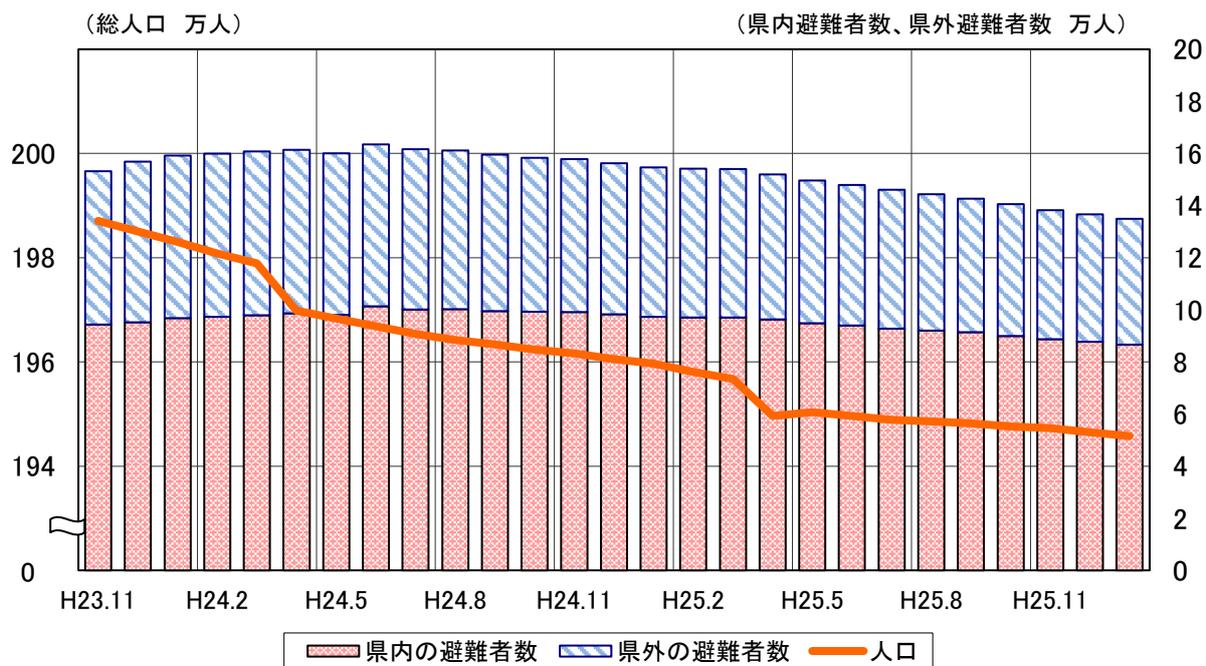
資料: 県統計課「福島県現住人口調査年報」、「福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果)」
 ※人口は各年1月1日現在の人数
 ※出生数、死亡数、転入者数、転出者数は「当該年の1月1日から12月31日までの増減数」

(2) 県の人口(各月1日現在の推移)



資料: 県統計課「福島県現住人口調査年報」、「福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果)」
 ※人口は各月1日現在の人数
 ※出生数、死亡数、転入者数、転出者数は「各月1日から月末までの増減数」

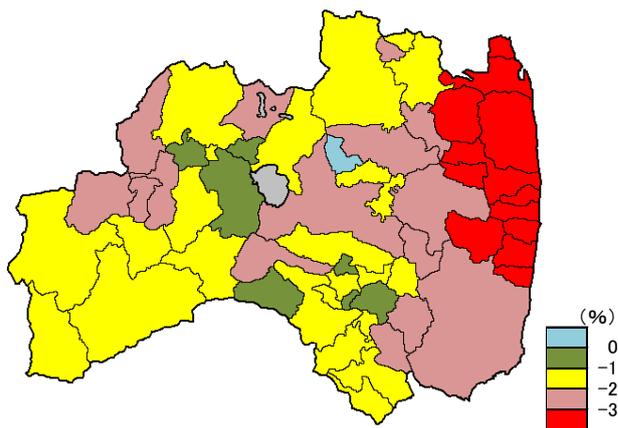
(3) 県の人口と避難者数



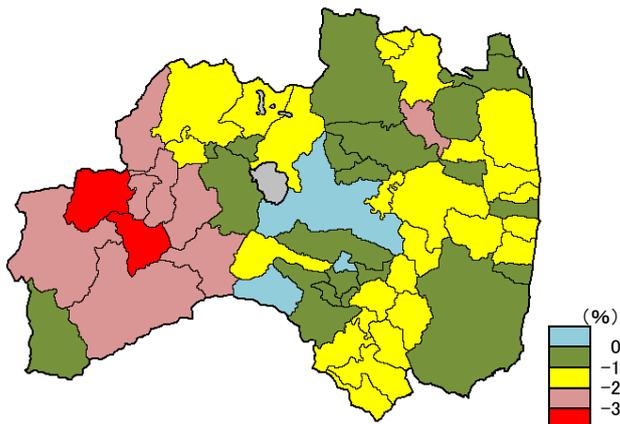
資料: 県統計課「福島県現住人口調査年報」、「福島県の推計人口(福島県現住人口調査結果)」、復興庁「全国の避難者等の数」
 ※人口は各月1日現在の人数
 ※県外避難者数、県外避難者数は各月上旬の累計避難者数

(4) 市町村別人口の増減率

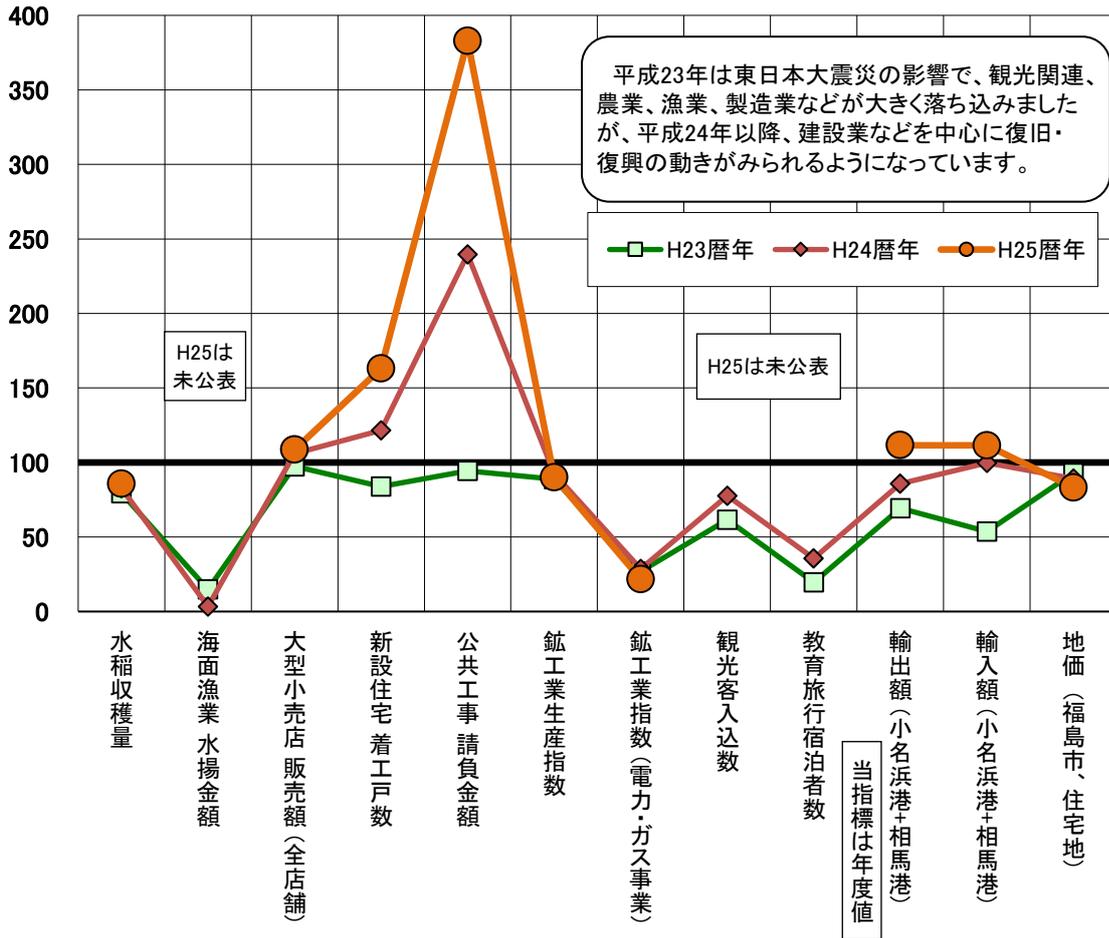
震災の影響を含む増減率(平成24年1月/平成23年1月)



直近の増減率(平成26年1月/平成25年1月)



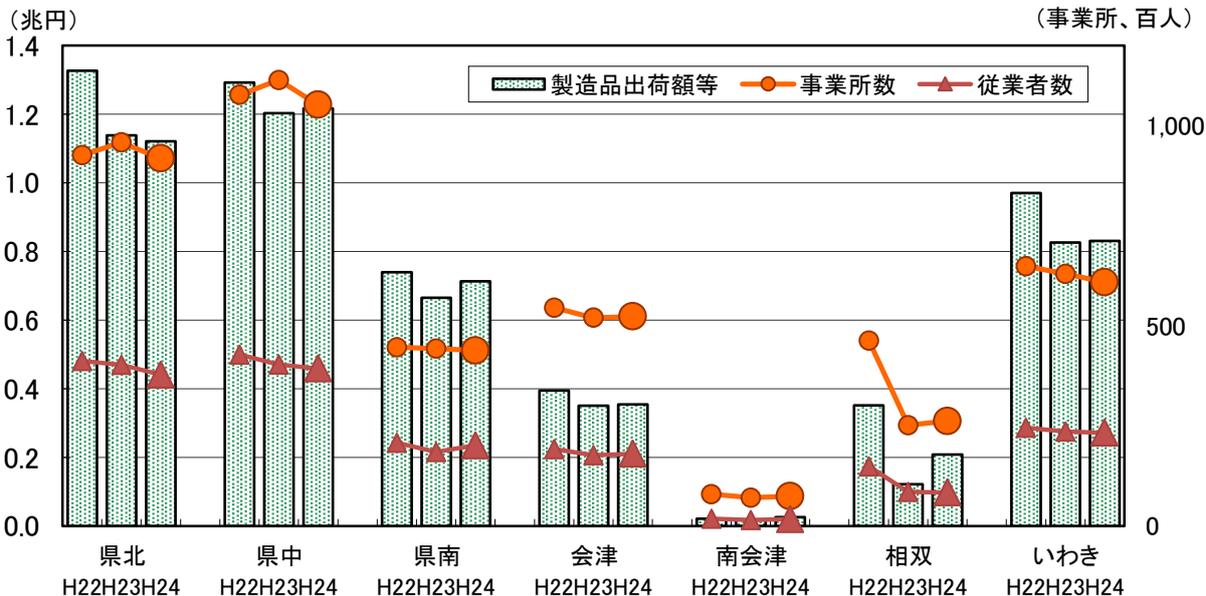
2 県内の経済動向 (H22暦年=100とした値)



経済情勢に関する指標(暦年値 ※教育旅行のみ年度値)						
項目	単位	H22暦年	H23暦年	H24暦年	H25暦年	資料
水稲収穫量	トン	445,700	353,600	368,700	382,600	農水省「作物統計」
H22=100		100.0	79.3	82.7	85.8	
海面漁業水揚金額	百万円	10,959	1,628	373	未公表	県水産課「福島県海面漁業漁獲高統計」
H22=100		100.0	14.9	3.4		
大型小売店販売額(全店舗)	百万円	223,494	217,826	236,871	242,572	東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」
H22=100		100.0	97.5	106.0	108.5	
新設住宅着工戸数	戸	9,342	7,826	11,353	15,233	国土交通省「住宅着工統計」
H22=100		100.0	83.8	121.5	163.1	
公共工事請負金額	百万円	202,335	190,885	484,973	774,804	東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」
H22=100		100.0	94.3	239.7	382.9	
鉱工業生産指数	H22=100	100.0	88.9	92.5	90.0	県統計課「福島県鉱工業指数年報、福島県鉱工業指数月報」
H22=100		100.0	88.9	92.5	90.0	
鉱工業指数(電力・ガス事業)	H22=100	100.0	26.9	28.6	21.7	
H22=100		100.0	26.9	28.6	21.7	
観光客入込数	千人	57,179	35,211	44,459	未公表	県観光交流課「福島県観光客入込状況」
H22=100		100.0	61.6	77.8		
教育旅行 宿泊延べ人数	人	673,912	132,445	240,148	未公表	(財)福島県観光物産交流協会「教育旅行入込調査」
H22=100 ※年度値		100.0	19.7	35.6		
輸出額(小名浜港+相馬港)	百万円	52,723	36,576	45,233	58,813	横浜税関「横浜税関管内貿易概況(H25は「貿易速報」)」
H22=100		100.0	69.4	85.8	111.6	
輸入額(小名浜港+相馬港)	百万円	412,051	220,964	410,672	459,184	
H22=100		100.0	53.6	99.7	111.4	
地価(福島市、住宅地)	円/m ²	41,200	38,300	36,800	34,300	県土地・水調整課「地価調査」(基準日は各年7/1)
H22=100		100.0	93.0	89.3	83.3	
(参考)地価(会津若松市、住宅地)	円/m ²	41,000	38,800	37,300	34,000	
(参考)地価(郡山市、住宅地)	円/m ²	45,000	41,800	40,700	39,700	
(参考)地価(いわき市、住宅地)	円/m ²	32,200	29,900	29,000	28,400	

※H26年2月末現在の値です(一部、速報値があるため、今後、改定される場合があります。)

3 県内製造業の製造品出荷額等の推移



	事業所数			従業者数(人)			製造品出荷額等(億円)		
	H22	H23	H24	H22	H23	H24	H22	H23	H24
県計	4,186	3,988	3,876	165,236	150,168	148,504	50,957	43,209	44,698
県北	927	958	918	41,188	40,248	37,752	13,266	11,385	11,213
県中	1,077	1,114	1,052	42,807	40,321	39,315	12,924	12,026	12,171
県南	446	443	438	20,822	18,444	20,130	7,398	6,647	7,130
会津	545	520	523	19,199	17,655	18,023	3,946	3,503	3,543
南会津	79	71	74	1,776	1,457	1,685	211	172	252
相双	463	252	262	14,883	8,459	8,343	3,509	1,217	2,081
いわき	649	630	609	24,561	23,584	23,256	9,703	8,258	8,309

資料:県統計課編「工業統計調査結果速報」「福島県の工業」

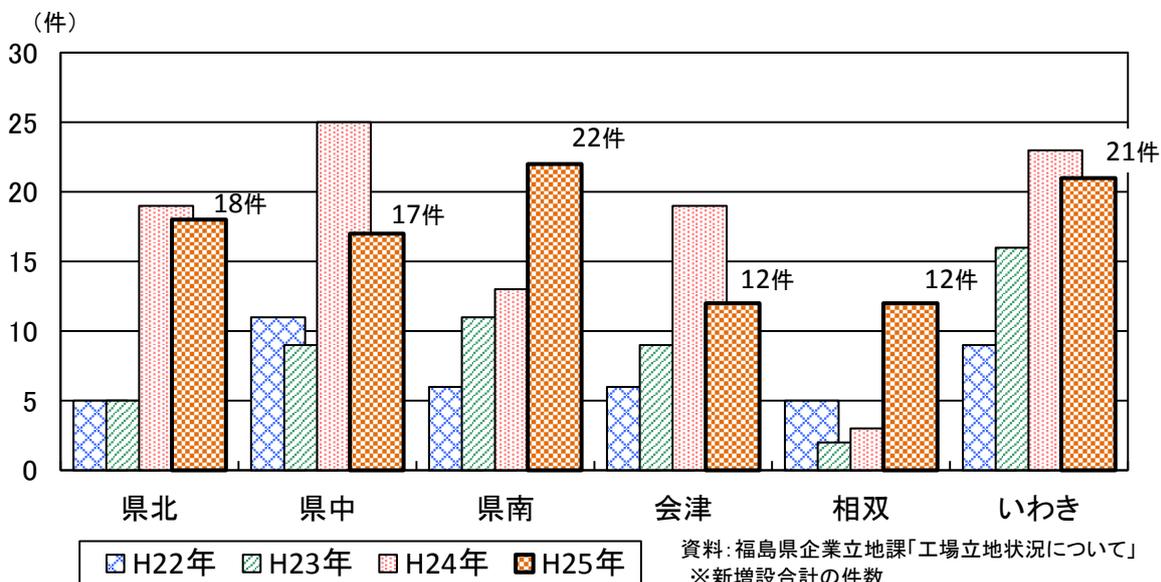
※従業者数4人以上の事業所を対象

※H23、H24年調査における調査対象外の地域

・全域が対象外「楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村」

・一部の地域が対象外「田村市(H23年調査のみ)、南相馬市、川俣町、川内村(H23年調査のみ)」

4 工場立地件数(地域別)の推移

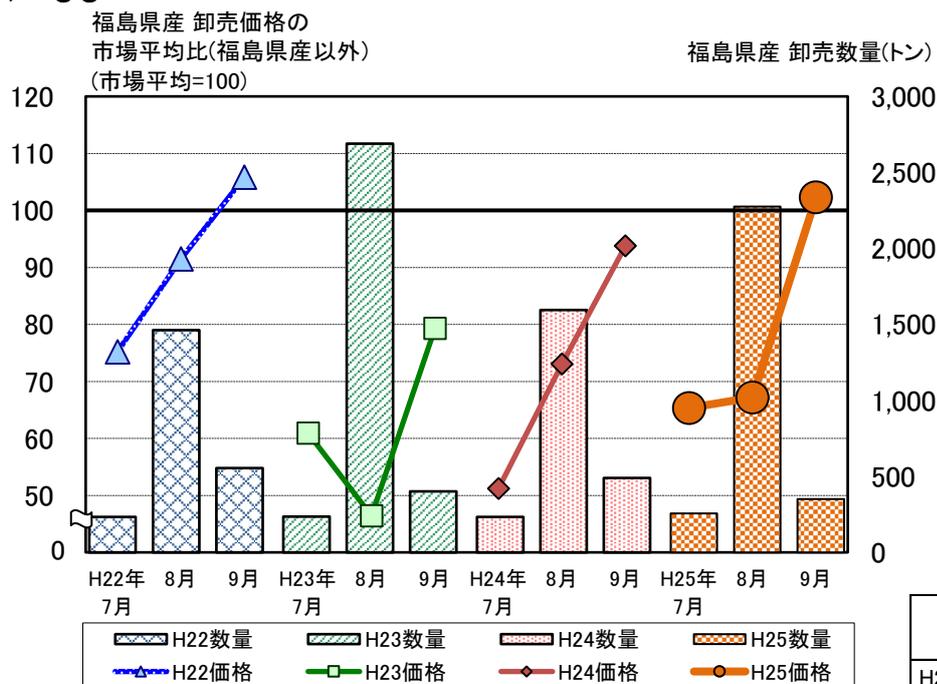


資料:福島県企業立地課「工場立地状況について」

※新增設合計の件数

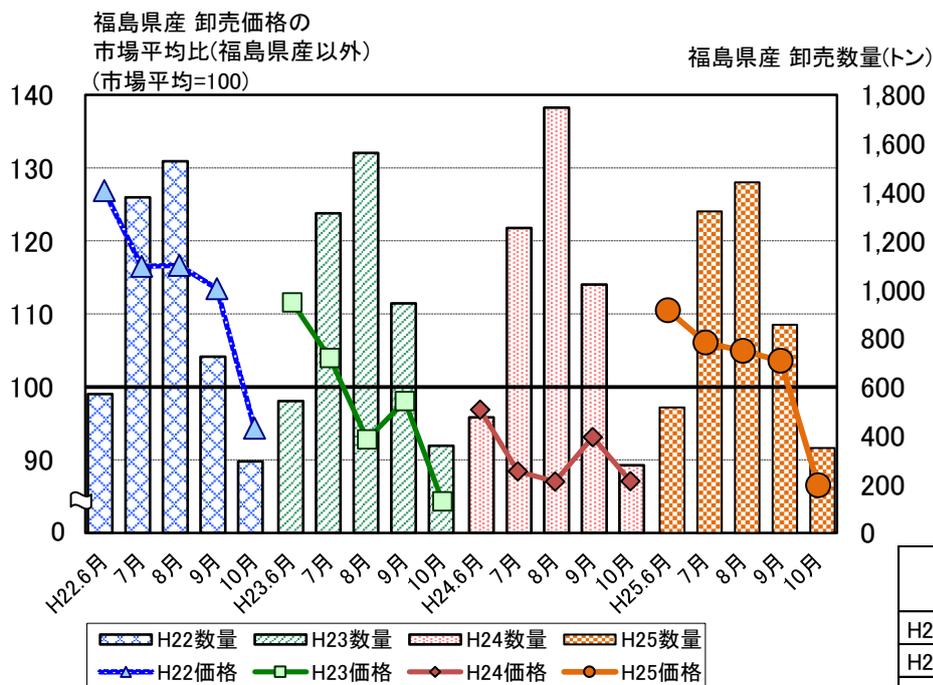
5 県内産の農産物の現状(卸売市場の価格、数量)

(1) もも



	収穫量(トン)	全国シェア(%)	全国順位
H22	28,200	20.6	2
H23	29,000	20.7	2
H24	27,500	20.3	2
H25	29,300	23.5	2

(2) きゅうり



	収穫量(トン)	全国シェア(%)	全国順位
H22	49,400	8.4	3
H23	44,400	7.6	4
H24	46,200	7.9	4

(資料)

グラフ(卸売価格、卸売数量)・・・農林水産省「青果物卸売市場調査(旬別結果、東京大田市場)」より作成

※卸売価格の市場平均比(福島県産以外の平均価格)

= 福島県産の価格 ÷ [(全産地の価格 × 全産地の数量 - 福島県産の価格 × 福島県産の数量)

÷ (全産地の数量 - 福島県産の数量)] × 100

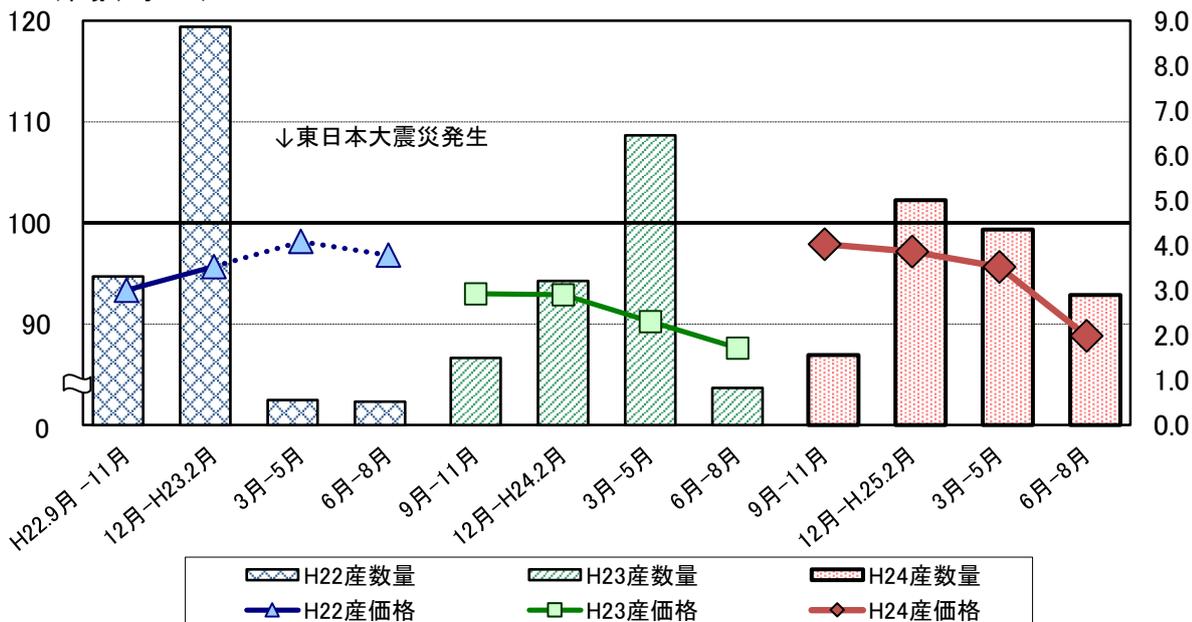
※卸売数量 = 福島県産の数量

表(収穫量)・・・農林水産省「作物統計」

6 県内産の農産物の現状(米の相対価格、相対数量)

福島県産 相対取引価格の
市場平均比(福島県産以外)
(市場平均=100)

福島県産 相対取引数量 (玄米万トン)



資料: 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」より作成

※ 相対取引価格の市場平均比(福島県産以外の平均価格)

$$= \frac{\text{福島県産の価格}}{\left\{ \frac{\text{全産地の価格} \times \text{全産地の数量} - \text{福島県産の価格} \times \text{福島県産の数量}}{\text{全産地の数量} - \text{福島県産の数量}} \right\}} \times 100$$

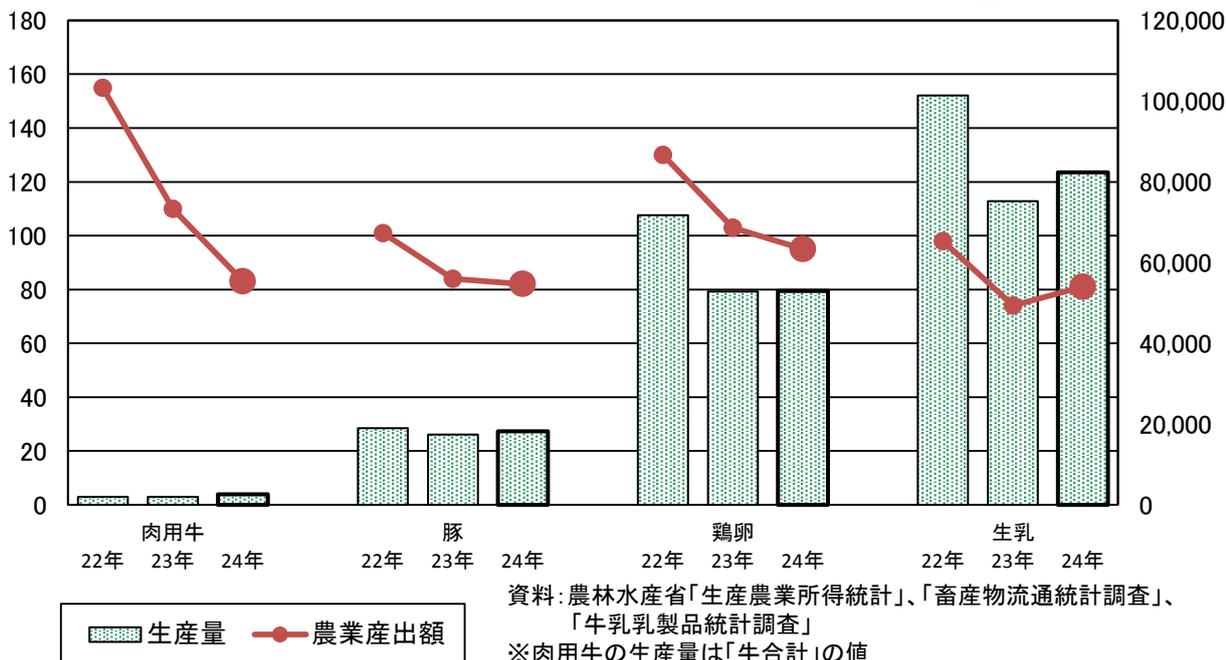
※ 平成23年5月～7月の相対取引価格は含まれない。

※ 相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その数量を用いて加重平均した価格である。

7 県内産の畜産物の現状(農業産出額、生産量)

(産出額 億円)

(生産量 単位:t)



資料: 農林水産省「生産農業所得統計」、「畜産物流通統計調査」、「牛乳乳製品統計調査」

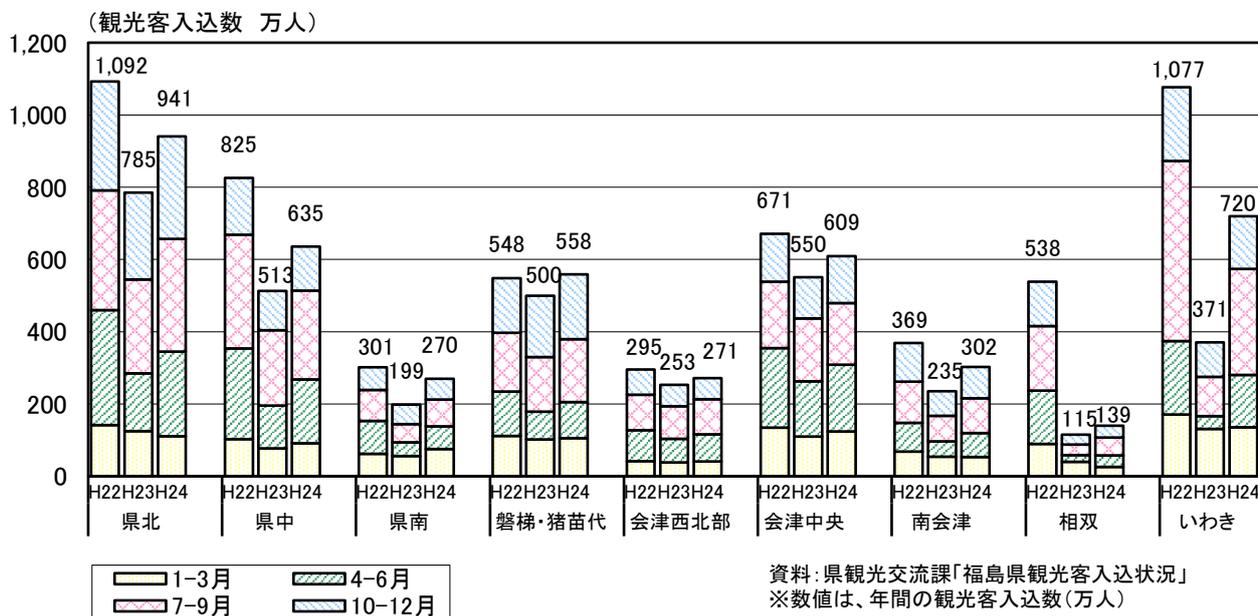
※ 肉用牛の生産量は「牛合計」の値

※ 農業産出額 = 生産数量 × 農家庭先販売価格

8 県内の観光客入込状況

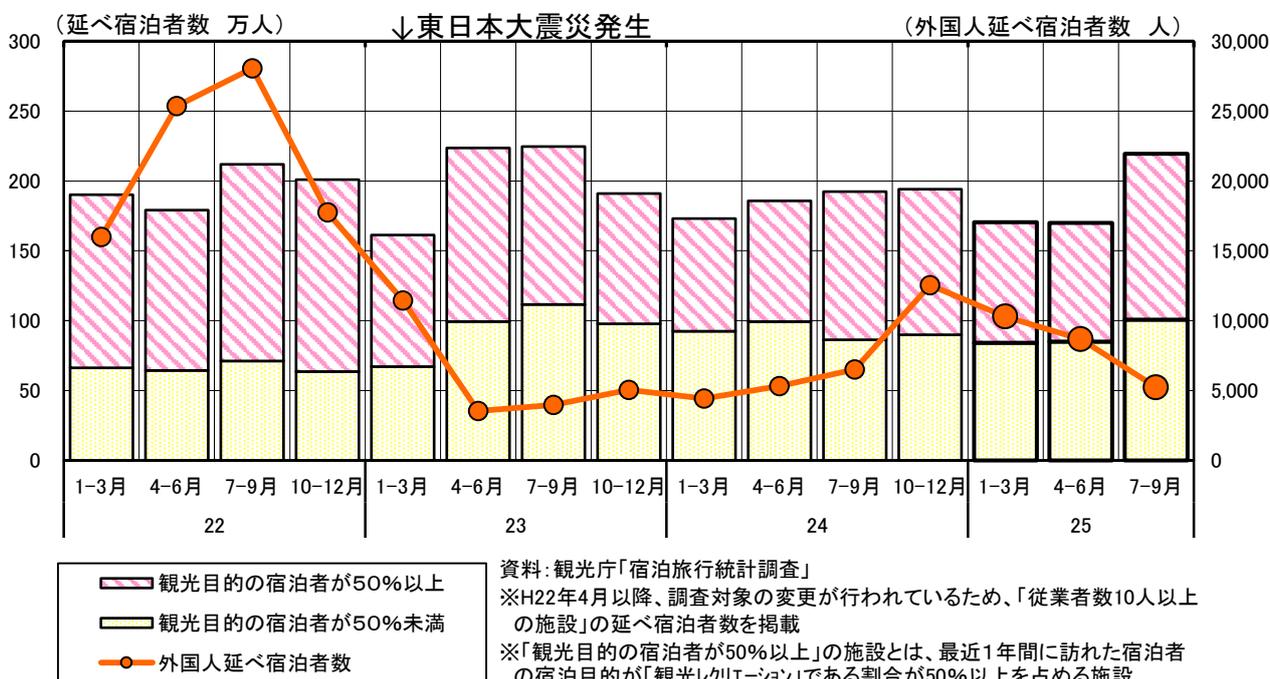
(1) 県内の観光客入込状況

- ・警戒区域等が設定された相双は、平成23年と比べると21.0%伸びているものの、震災前の平成22年と比べると3,989千人減(△74.1%)と大幅に減少した状況が続いている。
- ・いわきは平成22年と比べると3,568千人減(△33.1%)であるが、平成23年と比べると3,491千人増(+94.1%)と大幅に増加しており、観光施設の復旧等が進み入込が回復してきていることを示す状況となっている。
- ・その他の地域については、県南が前年に比べ35.9%増、南会津が28.3%増となるなど、各圏域とも回復傾向を示している。



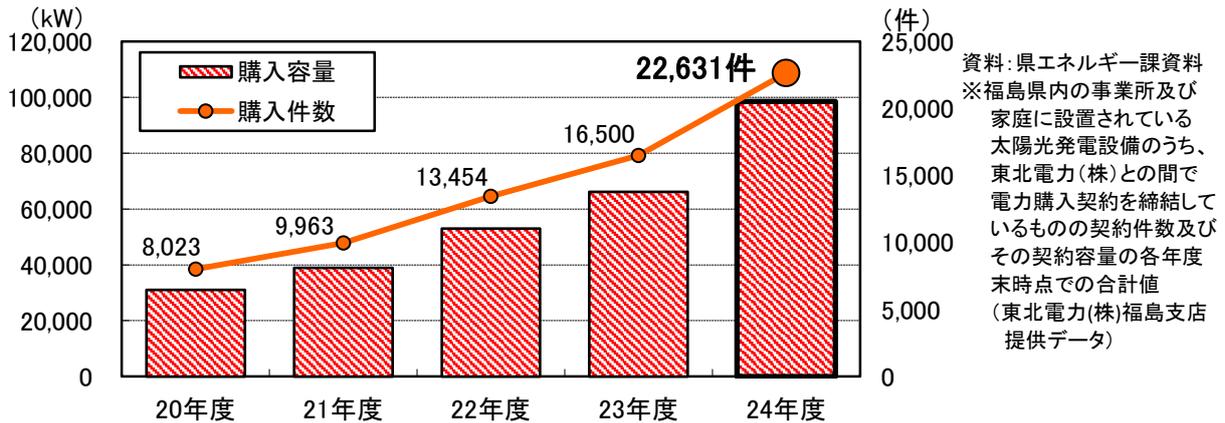
(2) 県内の宿泊者数の現状(従業者数10人以上の施設)

- ・H23年4-6月、7-9月は、二次避難等の影響により宿泊者数が増加したとみられます。
- ・H25年7-9月は、平成24年と比べて、「観光目的の宿泊者が多い施設」「観光目的以外の宿泊者が多い施設」ともに増加しています。

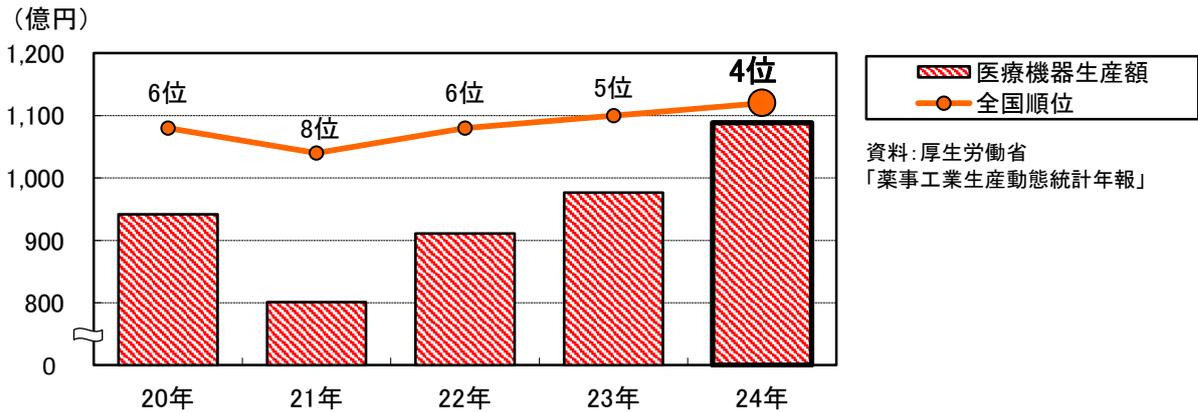


9 県内の成長産業と復興需要の推移

(1) 太陽光発電の余剰電力購入件数と購入容量



(2) 医療機器生産額と全国順位



県は「福島県復興計画」において、「再生可能エネルギーの推進」や「医療関連産業の集積」などを13の重点プロジェクトに位置付け、太陽光など再生可能エネルギーの導入拡大や医療機器開発・安全評価拠点の整備などに取り組んでいきます。

(3) 建築・土木工事 出来高

